

平成31年度 当初予算 (案)

主な事業の説明書

生涯学習部

款	項	目	大	事業	ページ
10	5	3	16	(仮称)大綱交流館整備事業費	9-1
10	5	3	18	(新規)太田文化プラザ改修事業費	9-2
10	5	4	99	子ども読書活動推進事業費	9-3
10	5	5	16	総合市民会館運営費	9-4
10	5	5	17	大仙市音楽祭開催経費	9-6
10	5	5	23	花火伝統文化継承資料館等整備事業費	9-7
10	5	6	14	払田柵跡環境整備事業費	9-8
10	5	6	27	角間川・川のまち歴史交流の杜整備事業費	9-9
10	6	1	21	全国500歳野球大会関係費	9-10
10	6	2	16	その他体育施設改修事業費	9-11
1	1	1	10	スキー場運営費	9-12

※部毎に款・項・目・大の順番とする。

事 業 説 明 書

10 款 5 項 3 目 16 事業

(施策の大綱)行財政運営の効率化

(施策)公共施設の効率的な運営

(基本事業)施設の長寿命化の推進

継続

課所名： 生涯学習部 生涯学習課

『事業名』 (仮称) 大綱交流館整備事業費

【31年度】 527,607 千円 【30年度】 188,150 千円 【増減額】 339,457 千円

※31年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
211,042		300,700		15,865

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

生涯学習活動や地域活性化活動の拠点施設として市内各地域に公民館が設置されている。安全・安心に利用していただくためにも築年数の古い公民館については公共施設等総合管理計画に基づき改修・改築を検討するとともに、緊急性の高い案件については修繕等により即時対応し、長寿命化を図りながら施設の維持管理に努めることを目的とする。

●目標：平成31年度工事進捗率 55.6%

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

- ・西仙北中央公民館は昭和53年に建築され、築39年が経過している建物である。
- ・平成19年度に事務所棟部分、平成28年度に講堂部分の耐震診断を実施し、その結果、耐震補強対策が必要とされる。
- ・西仙北地域内で検討を重ねた結果、築年数も古く補強したとしても近い将来建替えが懸念されることから、現在地に建替えをすることとした。

【平成30年度事業実績】

- (仮称)大綱交流館整備 実施設計、地質調査 29,917千円
- 西仙北中央公民館解体 解体工事、工事・設計管理 141,836千円
- 西仙北図書館改修 改修工事、工事・設計管理 2,790千円

3. Check (評価：問題と課題)

- ・建替えに向けて将来を見据えた施設利用者の把握と、「刈和野の大綱引き」を広く周知すべく刈和野駅を起点とした大綱に関する周辺整備を進めるとともに、施設利用者や地域住民から出された意見・要望を汲み入れた施設となるよう協議を重ねる必要がある。

4. Act (改善：今後の方向性と31年度事業の概要)

公民館は地域の生涯学習活動の拠点と位置づけられているため、市民が利用しやすく地域活性化に寄与できる施設の有効活用を図らなければならない。また、併設されている図書館のほか、「刈和野の大綱引き」に関する大綱の作業所や展示場についても施設機能を集約し、避難所としての防災機能も備えた、刈和野駅を起点とする新たな西仙北地域の拠点施設として整備していく。

【計画概要】 ・規模構造 『公民館棟』 鉄骨造 2階建て、延べ床面積 A = 1,927.74㎡
 『作業棟』 木造 平屋建て、延べ床面積 A = 472.63㎡

・総事業費 948,255千円

(千円)

予算項目		平成31年度	平成32年度	合計
委託料	工事監理	6,823	5,449	12,272
	設計管理	1,293	1,032	2,325
	計	8,116	6,481	14,597
工事請負費	建築	459,008	253,738	712,746
	機械設備	28,017	52,958	80,975
	電気設備	32,466	107,471	139,937
	計	519,491	414,167	933,658
合計		527,607	420,648	948,255

■継続費の設定

(千円)

年度	年割額	財源内訳			工事進捗率
		国費	市債	一般財源	
平成31年度	527,607	211,042	300,700	15,865	(55.6%)
平成32年度	420,648	168,259	239,700	12,689	(44.4%)
合計	948,255	379,301	540,400	28,554	(100%)

事 業 説 明 書

10 款 5 項 3 目 18 事業

(施策の大綱)行財政運営の効率化

(施策)公共施設の効率的な運営

(基本事業)施設の長寿命化の推進

新規

課所名： 生涯学習部 生涯学習課

『事業名』 太田文化プラザ改修事業費

【31年度】 30,423 千円 【30年度】 0 千円 【増減額】 30,423 千円

※31年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			30,423	

※公共施設修繕引当基金繰入金

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

生涯学習活動や地域活性化活動の拠点施設として市内各地域に公民館が設置されている。安全・安心に利用していただくためにも築年数の古い公民館については公共施設等総合管理計画に基づき改修・改築を検討するとともに、緊急性の高い案件については修繕等により即時対応し、長寿命化を図りながら施設の維持管理に努めることを目的とする。

- 目標：事業期間3年を目途に改修

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

【平成28年度】

- ・太田生活改善センター（太田公民館）の一部を解体し、公民館事務室を太田庁舎内に移転させることにより、事務機能の集約となり地域住民に対するサービス向上が図られた。

【平成29年度】

- ・太田庁舎に隣接する太田文化プラザ遊休スペースを、減築した公民館機能の補完と地域防災拠点として利用するため改修工事の実施設計（建築分）を行った。

【平成30年度】

- ・太田文化プラザの老朽化が著しい空調設備に関する改修工事の実施設計を実施。2月末設計完成予定。

3. Check (評価：問題と課題)

- ・近年は雨漏りや各種設備配管の破損による漏水が発生しており、経年劣化による老朽化が著しい。
- ・平成28年度の太田生活改善センター（太田公民館）の一部解体によって失われた生涯学習スペースを補いつつ、地域の防災スペースとして併用できるような大規模改修が望まれている。

4. Act (改善：今後の方向性と31年度事業の概要)

当施設に生涯学習機能、集会施設機能、そして防災機能を集約することによって、より地域住民が利用しやすく安心・安全な拠点施設を目指す。

平成31年度事業として、まずは屋上防水工事を実施し、その他の工事については、防水工事後の経過も見ながら改修内容の検討・協議を重ね、事業計画を立てて進めていく予定である。

【施設概要】

- 太田文化プラザ（正式名称：太田農村環境改善センター、太田支所となり）
昭和54年度建築（築39年経過） 鉄筋コンクリート造 2階建て 延べ床面積 A=1,814.69㎡

【平成31年度 計画】

- 屋上防水工事 工事請負費 30,423千円、 改修屋根面積 A=1,528㎡

【平成32年度以降の計画】

- 空調設備改修工事
- 内部改修工事（鈴木空如展示スペース改修含む）
 - ・改修計画検討内容
（風除室設置、外部スロープ、1F・2Fトイレ改修、生活実習室 他）

事 業 説 明 書

10 款 5 項 4 目 99 事業

(施策の大綱)生涯学習の推進

(施策)生涯学習の推進

(基本事業)「大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画」に基づいた読書推進事業の実施

継続

課所名：生涯学習部 生涯学習課 総合図書館

『事業名』 子ども読書活動推進事業費

【31年度】 5,068 千円 【30年度】 5,699 千円 【増減額】 △ 631 千円

※31年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
				5,068

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

「第2次親と子の夢を育む読書活動推進計画」に基づき、大仙市の子どもが本に親しみ、読書する意欲を高め生涯にわたる読書習慣を培うために、家庭や地域、学校、図書館などが連携、協力して読書活動を推進する。

- 目標：「だいせん読書の日」関連事業参加者 13,000人 (H29年度 12,369人)

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

●ブックスタート事業

4ヶ月児健診時に、乳児と保護者を対象に読み聞かせをし、絵本を手渡し、子どもが本と出会うきっかけづくりをした。保護者や子育て支援のボランティアなどに好評だった。(対象者全員に配付)

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
配 付 人 数	530	488	521	480	470

●市立図書館と学校図書館の連携

子ども読書支援サポーター3名を大曲地域、東部地域、西部地域に配置し、学校のニーズに応じた読書支援を行った。学校の協力も得られ、支援体制の見直しによって円滑な連携も進んでいる。

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
活 動 回 数	857	918	945	870	810
毎月1校当たりの訪問回数	2.3	2.4	2.5	2.3	2.1

●だいせん読書の日における読書活動の推進

11月第1木曜日の「だいせん読書の日」を中心に市内全図書館で本の楽しさを伝える多彩なイベントや提供された本のリサイクル等を開催し、市民から好評である。

年 度	28年度	29年度
参 加 者 数	3,871	12,369 (公民館祭と同時開催の館あり)

3. Check (評価：問題と課題)

読書支援サポーターについては、学校の協力も得られ円滑な連携がなされているが、学校の要望は多岐にわたるため、サポーターを含めた他機関との連携を進め適切なサポート体制を構築する必要がある。

4. Act (改善：今後の方向性と31年度事業の概要)

項 目	事 業 の 概 要	事 業 費
小・中学生への子ども読書通帳の配布(新規)	読書支援サポーター配置事業の成果を受け、子どもに一層読書に親しむ習慣づくりを行うとともに、他市町村でも意欲向上に効果が上がっている子ども読書通帳を市内全小・中学校に配布する。	591千円
ブックスタート事業	絵本を介して親子の心のふれあいを創出し、引き続き本との出会いづくりを支援する。	704千円
読書支援サポーターの配置	学校が必要とする支援を精査し、他機関との連携のもと適切な支援を行う体制を構築する。	3,695千円
だいせん読書の日関連事業	子どもから大人まで読書の楽しみが繋がるイベントを開催して広く周知する。	78千円

事 業 説 明 書

10 款 5 項 5 目 16 事業

(施策の大綱)芸術・文化の振興

(施策)芸術・文化の振興

(基本事業)芸術文化鑑賞・体験機会の創出

継続

課所名：生涯学習部 生涯学習課 総合市民会館

『事業名』 **総合市民会館運営費**

【31年度】 18,059 千円 【30年度】 31,926 千円 【増減額】 △ 13,867 千円

※31年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			9,411	8,648

※入場料収入

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

- 目的：市内4市民会館が優れた文化芸術を身近に鑑賞する機会を提供し、市民の文化意識の向上を図るとともに、地域の文化振興の発展に資する。
- 目標：事業費に占める入場料収入の割合(収支比率)は、4館平均で50%とする。

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

- ・公演の企画立案は、市民と行政とが協働で行っており、市民の幅広いニーズに対応した公演は、多くの市民に満足いただいている。
- ・4館の特性や地域性を考慮した多彩なジャンルの公演を分担して実施しており、事業費に占める入場料収入(収支比率)は4館平均で50%程度で推移している。

事業年度	H25	H26	H27	H28	H29
4館平均収支比率	43%	55%	45%	48%	46%

3. C h e c k (評価：問題と課題)

- ・今後の課題としては、入場者数を増やし入場料収入の増加に努めるとともに、各種助成制度の活用や共催事業による公演の開催などにより、一般財源からの支出をできる限り抑える必要がある。

4. A c t (改善：今後の方向性と31年度事業の概要)

- ・自衛隊音楽隊、クラシック音楽、ポップス、民俗芸能、能など多彩なジャンルの公演を今後も市民に提供していきたい。
- ・31年度は、大仙市出身の俳優が主演するミュージカル、大仙市ゆかりの若手音楽家を応援するコンサートも継続して企画する。そのほか市民ニーズを考慮し、人気アーティストのポップス公演や毎年人気の自衛隊音楽隊コンサート、民俗芸能フェスティバルなど、各館で特色ある自主事業公演を予定している。

区 分	事業費 (千円)	入場料等収入 (千円)	一般財源 (千円)	収支 比率
大曲市民会館 (4事業)	5,314	3,349	1,965	63%
中仙市民会館 (3事業)	6,330	3,826	2,504	60%
協和市民センター (2事業)	4,770	1,500	3,270	31%
ふれあい文化センター (1事業)	1,645	736	909	44%
合 計	18,059	9,411	8,648	52%

(収支比率は入場料等収入／事業費で算出)

- ・今後も限られた予算の中で、幅広い市民の意見を取り入れ楽しんでいただくことを心掛けつつ、これまで以上に宝くじ事業などの助成制度の活用や共催事業の開催など、4館が工夫して一般財源の削減に努めていく。

31年度 4館自主事業公演（案）

	事業名	実施年月日	公演形態	入場料金	入場者数	事業費	入場料収入	一般財源	
				(前売り)円	人				千円
大曲市民会館	1	Music Festival in Daisen 大仙市にゆかりのある若手歌手コンサート	5月26日(日)	自主	全席自由 一般 1,000円 高校生以下 500円	400	1,313	350	963
	2	宝くじまちの音楽会岩崎宏美with宗次郎	10~11月	自主	全席指定 2,000円	998	963	998	△ 35
	3	わらび座公演「二宮金次郎」	10月23日(水)	自主	全席指定 4,000円	500	2,500	2,000	500
		NHK公開ラジオ番組「吹奏楽のひびき」	6月14日(金)	共催	入場無料	998	538	0	538
				その他歳入	チケット販売手数料			1	△ 1
						31年度小計	5,314	3,349	1,965
					30年度予算	15,654	8,551	7,103	
中仙市民会館	1	渡辺香津美&須川展也プレミアム・ジャズ・ライブ 出演:渡辺香津美・須川展也・井上陽介	7月下旬 予定	自主	全席指定(仮) S席4,500円 A席4,000円 学生2,000円(大学生以下)	400	2,639	1,625	1,014
	2	宇崎竜童 弾き語り LIVE	12月20日(金) 予定	自主	全席指定(仮) S席5,000円 A席4,500円 学生2,000円(大学生以下)	450	3,475	2,100	1,375
	3	優秀映画鑑賞推進事業「優秀映画鑑賞会」 ～往年の名作フィルム映画の上映～	1月下旬	自主	全席自由 一日券500円 二日券800円	200	216	100	116
				その他歳入	チケット販売手数料			1	△ 1
						31年度小計	6,330	3,826	2,504
						30年度予算	5,890	2,703	3,187
協和市民センター	1	自衛隊音楽隊コンサート	7月上旬	自主	全席自由 無料	450	484	0	484
	2	定期能公演【喜多流】	H31.8.25(日)	自主	全席指定 S席6,000円 A席5,000円	260	4,286	1,500	2,786
				その他歳入	チケット販売手数料				
						31年度小計	4,770	1,500	3,270
						30年度予算	8,247	3,475	4,772
ふれ文	1	民俗芸能フェスティバル10周年記念 (すずめ踊り・さんさ踊り・秋田竿灯・太田分校郷土芸能部)	11月中旬	自主	1,500円	490	1,645	735	910
	2								
				その他歳入	チケット販売手数料			1	△ 1
						31年度小計	1,645	736	909
						30年度予算	2,135	543	1,592
4館計						31年度合計	18,059	9,411	8,648
						30年度合計	31,926	15,272	16,654

事 業 説 明 書

10 款 5 項 5 目 17 事業

(施策の大綱) 芸術・文化の振興

(施策) 芸術・文化の振興

(基本事業) 芸術文化鑑賞・体験機会の創出

継続

課所名：生涯学習部 生涯学習課 総合市民会館

『事業名』 大仙市音楽祭開催経費

【31年度】 4,846 千円 【30年度】 8,094 千円 【増減額】 △ 3,248 千円

※31年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			1,600	3,246

※入場料収入

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

- 目的：「音楽のまち大仙」として長年にわたり育んできた伝統と財産を、市民により身近なものとするため、「ひとづくり、きずなづくり、まちづくり」をコンセプトとした市民参加型音楽祭を開催して、音楽に触れ合うことのできる機会を提供する。
- 目標：「音楽を通して、人があふれるまちを創り出す」「子ども達の豊かな感性を育む」「地元の音楽家を育てる」「コンサートを支える人を育てる」「音楽を通したふれ合いの場を創り出す」

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

大仙市音楽祭2018 開催状況

月日	会場	公演名	入場料	入場者数
11/10(土)	大ホール	企画公演①/小・中・高校生による演奏会	無料	486名
	小ホール	企画公演②/ソロフェスタ入賞者、公募市民による音楽会	無料	137名
	大ホール	山形交響楽団「市民のためのオーケストラ」	2,000円	284名
11/11(日)	ホワイエ	楽器体験コーナー	無料	518名
	大ホール	山形交響楽団「0歳からのオーケストラ」	1,000円	213名
	大ホール	企画公演③/地元音楽団体によるコラボコンサート	無料	213名
2日間 合計				1,638名

関連事業

月日	会場	内容	対象	受講者数
11/11(日)	大曲中学校	山形交響楽団「クリニック」	中・高生	152名

3. Check (評価：問題と課題)

- ・29年度(仙台フィルハーモニー管弦楽団)、30年度(山形交響楽団)とプロオーケストラ公演を2年連続で開催し音楽祭の認知と集客の向上を図ったが、予算面を考慮すると、数年に一度の周年公演として開催する必要がある。
- ・実行委員の意見として、クラシック音楽を核としながらも様々なジャンルの音楽を市民に提供したいとあり、「オーケストラ」「吹奏楽」「合唱」など、多くの市民が楽しめるようジャンルをローテーションしながら大仙市音楽祭のスタイルを創り上げていく必要がある。

4. Act (改善：今後の方向性と31年度事業の概要)

- ・より多くの市民が関わり、楽しめる音楽祭にするため、音楽ジャンルの広がり、幅広い年代の関わり、会場の多様化、音楽祭開催期間、オーケストラのみにこだわらないプログラム構成などを検討していく。

大仙市音楽祭2019 (案)

月日	会場	公演名	入場料	委託料	
11/9(土)	大ホール	企画公演①/市内小中学生による演奏会	無料	/	
	小ホール	企画公演②/ソロフェスタ入賞者、公募市民による音楽会	無料		
	大ホール	横濱音泉倶楽部「市民のためのジャズコンサート」	2,000円		800千円
11/10(日)	ホワイエ	楽器体験コーナー	無料	/	
	大ホール	横濱音泉倶楽部「0歳からのジャズコンサート」	1,000円		700千円
	小ホール	大仙市音楽祭オーケストラ演奏会 ※公募の子どもたちによるオーケストラ	1,000円		1,238千円
12/8(日)	大ホール	大いなる秋田大演奏会 (公募の市民・中高生)	無料	/	

関連事業 (案)

月日	会場	内容	対象	委託料
11/10(日)	大曲中学校	横濱音泉倶楽部「クリニック」	中・高生	600千円

事 業 説 明 書

10 款 5 項 5 目 23 事業

(施策の大綱) 花火産業構想の振興

(施策) 花火産業構想の推進

(基本事業) 花火の文化的価値を高め、
継承し、広く示す拠点づくり

継続

課所名：生涯学習部 生涯学習課 花火伝統文化継承資料館

『事業名』 花火伝統文化継承資料館等整備事業費

【31年度】 25,095 千円 【30年度】 361,405 千円 【増減額】 △ 336,310 千円

※31年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,792		14,500		803

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

【目的】

大仙市花火産業構想(第Ⅰ期)(平成26年3月策定)の施策の一つである「花火の文化的価値を高め、継承し、広く示す拠点づくり」の実現に向けて、既存生涯学習施設の改築と組み合わせた花火伝統文化継承資料館を整備する。併せて、大仙市産業展示館を本施設と一体の施設として改修を行うなど、当エリアを「大曲の花火」を中心とした当市の花火文化の継承・発信の拠点として整備する。

【目標】

●年間利用者数 56,000人 ●年間資料収集点数 1,000点

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

- 平成26年度 基本計画、敷地測量
- 平成27年度 基本設計、地質調査、解体工事实施設計(女性センター・土地区画整理事務所)
- 平成28年度 解体工事(女性センター・土地区画整理事務所)、新築建物実施設計、横断測量
- 平成29年度 新築工事(建築・電気・機械)、工事監理、設計監理、解体工事实施設計(青少年ホーム)、新資料館愛称募集
- 平成30年度 新築工事(建築・電気・機械)、産業展示館改修工事、工事監理、設計監理、青少年ホーム解体工事

3. C h e c k (評価：問題と課題)

整備事業最終年度の31年度は、青少年ホーム跡地の駐車場整備に加え、都市再生整備計画に基づく関連事業を実施する予定であることから、計画どおり事業が完了するよう、国・県等と協議しながら事業の進捗に努める必要がある。

4. A c t (改善：今後の方向性と31年度事業の概要)

【平成31年度事業の概要】

第2期外構工事として青少年ホーム跡地の駐車場整備を行う予定であり、社会資本整備総合交付金の確保に努めながら、事業の円滑な進捗に努める。

- 第2期外構工事概要 (工事・設計監理業務委託615千円、工事費24,480千円)
- 1) 駐車場舗装及び消雪設備工事(青少年ホーム跡地、展示館) A=1,040㎡
- 2) 消雪用さく井工事

※工事完了後の一般車両駐車可能台数 53台(25台分の増設)

【今後の方向性】

今年度で整備事業は終了するが、施設の適切な維持管理に努めるとともに、展示物の計画的な更新のほか、定期的に企画展示や催し物を開催するなど、市民に愛され、全国の花火ファンを惹きつける魅力ある施設づくりに努める。

事 業 説 明 書

10 款 5 項 6 目 14 事業

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 文化財の保存、整備、活用の推進

(基本事業) 文化財を活用した地域づくり

継続

課所名： 生涯学習部 文化財保護課

『事業名』 払田柵跡環境整備事業費

【31年度】 5,563 千円 【30年度】 777 千円 【増減額】 4,786 千円

※31年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,560				3,003

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

秋田県初の国指定史跡である遺跡の保存を図るとともに、その性格や内容をわかりやすく復元整備し、史跡公園として見学者の利用や総合・生涯学習、各種イベント等の活用に供することを目的として、第3次環境整備事業基本計画（平成15年度策定）に基づき、年次計画による復元整備と遺跡保護のための各種事業を実施する。

- 設定期間：平成7年～平成35年度（予定）
- 目標数値：平成31年度末事業進捗率 約33.86%（全体事業費1,000,000千円のうち338,560千円）
（平成30年度末までの事業進捗率 約33.34%）

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

- ・ 史跡の環境整備によって県内外から年間約3万～3万5千人（案内所見学者約1万人、史跡公園利用者約2万～2万5千人）が訪れ、総合学習や生涯学習、市民の憩いの場、催事開催、グラウンドゴルフなど多目的に利用されている。

3. Check (評価：問題と課題)

- ・ 事業が長期に渡っており、平成15年度に策定した環境整備計画の完成前に復元外柵南門など過去に復元整備した建造物等が老朽化し、見学者の安全を確保するため再整備を優先して行う必要が生じている。
- ・ また、前述の環境整備計画の終期（平成35年度）が近づいていることから、事業計画の見直しや復元建造物等の再整備を含めて今後を見据えた新しい環境整備計画を策定する必要がある。

4. Act (改善：今後の方向性と31年度事業の概要)

【平成31年度事業の概要】

- ・ 実施予定であった復元外柵南門修理工事を見送り、第4次環境整備事業基本計画及び史跡内復元建造物等再整備計画の策定を行う。（国庫補助事業：補助率50%）

事業内容	事業費(千円)	備考
新規計画策定業務委託 (復元建造物等再整備計画含む)	3,663	事業実施年度：平成31年度～平成32年度
環境整備審議会開催 ほか	1,900	・ 環境整備審議会 年3回開催 ・ 審議会委員 新規2名委嘱予定 (建造物及び木材に関する専門家(大学教授等))

【今後の方向性】

- ・ 今後の事業計画については次のとおりとし、平成35年度以降は新規に策定する環境整備事業計画に基づいて事業を実施する。また、柱材の腐食のため倒壊の危険性がある復元外柵南門の再整備工事が完了するまでの期間は門の通行を禁止し、別に見学路（迂回路）を設定する。

年度	事業内容	事業費(千円)	備考
平成31年度	新規計画策定業務委託 (整備基本方針決定)	3,663	
平成32年度	新規計画策定業務委託 (計画書作成・編集)	4,840	新規計画書 刊行
平成33年度	復元外柵南門再整備工事 (一期工事)	60,483	仮設工事、揚屋工事、解体工事、 基礎工事、木工事(柱根継)
平成34年度	復元外柵南門再整備工事 (二期工事)	47,990	木工事(扉、屋根材新調)、塗装工事

事 業 説 明 書

10 款 5 項 6 目 27 事業

(施策の大綱) 芸術・文化の振興

(施策) 文化財の保存、整備、活用の推進

(基本事業) 文化財を活用した地域づくり

継続

課所名：生涯学習部 文化財保護課

『事業名』 角間川・川のまち歴史交流の杜整備事業費

【31年度】 16,829 千円 【30年度】 102,170 千円 【増減額】 △ 85,341 千円

※31年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			2,000	14,829

※教育文化基金繰入金

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

東北地方を代表する雄物川舟運の歴史を伝える「角間川の旧家群」を活用し、地域の歴史と交流をキーワードとした地域活性化拠点エリアを整備する。

国登録文化財の本郷家住宅をはじめとした秀逸な近代建造物群を周知し、エリア内へ案内所等の便益施設を計画的に整備しながら、地域文化向上と広域的な文化財活用型観光交流を推進する。

- 目標：川のまち歴史交流の杜 年間来館者数1万人（旧池田氏庭園の5割、払田柵総合案内所と同等）

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

- ・平成29年度に三家の敷地・建造物の公有化を完了し、順次公開対応の改修を実施している。
- ・平成30年度には旧荒川家住宅の大規模改修を実施し、案内所・トイレ機能を完備した便益施設が完成した。また、旧本郷家住宅の特別公開を計56日間開催し、2,623人が来館した。

年度	H28～H29	H30
実績	三家：土地・建物公有化、庭園整備 本郷家：生活痕改修	荒川家：大規模改修、減築、トイレ整備 本郷家：公開対応改修
成果	H29本郷家特別公開来館者950人（2日間）	本郷家特別公開来館者2,623人（56日間）

3. Check (評価：問題と課題)

- ・建造物群の老朽化が進んでおり、安全確保の観点から早急に改修する必要がある。
- ・内蔵の収蔵資料を整理するマンパワーが不足しており、すべてを公開するまでには時間を要する。

4. Act (改善：今後の方向性と31年度事業の概要)

【今後の方向性】

- ・事業期間：【前期計画】平成28～32年度・・・保存整備・公開準備（主にハード整備）
【後期 〃】平成33～37年度・・・公開と組織整備（主にソフト事業）
- ・総事業費：245,000千円

(単位：千円)

年度	項目	H31年度	H32年度	H33～H37年度
主な整備事業内容	設計監理	—	北島家改修実施設計 461	公開体制の組織整備 活用計画策定 15,767 指定管理の導入準備 老朽箇所の修繕
	建造物	塀改修、門等修繕他 7,710	北島家屋根・塀修理他 9,409	
	外構	外構整備、庭園整備 2,659	外構整備、庭園整備 400	
	調査	建物・庭園調査 149	建物・庭園調査 100	
	合計	10,518	10,370	15,767

【平成31年度事業概要】

(単位：千円)

項目	実施内容	事業費
建造物改修	塀改修、門等修繕、本郷家改修（砂壁・屋根等）、北島家改修（建具等）	7,710
外構・庭園整備	外構整備、庭園整備	2,659
調査	建物・庭園調査	149
その他	維持管理、特別公開管理等	6,311
	合計	16,829

事業説明書

10 款 6 項 1 目 21 事業

(施策の大綱) スポーツの推進

(施策) スポーツ機会の拡大と環境の整備

(基本事業) スポーツによる地域の活性化

継続

課所名：生涯学習部 スポーツ振興課

『事業名』 全国500歳野球大会関係費

【31年度】 5,840 千円 【30年度】 5,800 千円 【増減額】 40 千円

※31年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			5,840	

※公共スポーツ施設等活性化助成金他

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

「野球に燃える親父たちの甲子園」のキャッチフレーズのもと、高齢者が野球を楽しみながら健康づくりを行うことをモットーに、500歳野球の全国大会を継続して展開する。生涯スポーツとしての野球を楽しみながら、長寿社会の形成に資することを目的とし、併せて地域知名度の向上と観光宣伝及び特産品PRを通じて地域の活性化を図る。

- 目標：県外参加チーム数23チーム（前年比+2）、県外チーム登録者数500人（前年比+35）
大会期間中延べ宿泊者数700人（前年比+76人）

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

【平成29年度 第1回全国500歳野球大会】

期 日	平成29年7月15日（土）～17日（月）
会 場	大仙市総合公園野球場（主会場）他5会場
出場チーム	32チーム（県外からは交流都市を含む、1都10県18チーム、388人が参加）

【平成30年度 第2回全国500歳野球大会】

期 日	平成30年7月14日（土）～16日（月） 開会式：7月13日（金）
会 場	大仙市総合公園野球場（主会場）他5会場
出場チーム	32チーム（県外からは交流都市を含む、1都10県21チーム、465人が参加）

3. Check (評価：問題と課題)

- ・より多くの都道府県からの参加を目標としているが、50歳代以上の野球大会は全国的に少なく、各地域でそれぞれの組織が独自の大会を実施しているのが現状であるため、情報提供を末端組織まで幅広く発信していくことが重要である。
- ・大会の開催は、本市の知名度を上げる良い機会となるため、花火鑑賞や特産品販売等、関係機関と連携してホスピタリティ面も充実させ、出場チームのリピート率の維持と応援で訪れた選手の関係者も楽しめる大会として確立させたい。

4. Act (改善：今後の方向性と31年度事業の概要)

大会終了後に出場チームに対して毎回アンケート調査を実施し、大会運営面やおもてなしの部分に関する感想や要望について取りまとめ、次年度の大会に反映させている。全国大会は中高齢者が生涯スポーツとしての野球を楽しみながら、開催地周辺の観光や物産を融合させる「大仙市版スポーツツーリズム」として取り組んでいく。

【平成31年度 第3回全国500歳野球大会】

期 日	平成31年7月13日（土）～15日（月） 開会式：7月12日（金）
会 場	大仙市総合公園野球場（主会場）、神岡野球場、八乙女球場、協和野球場、太田球場、仙北球場（全6会場）
出場チーム	32チーム（県外から23チーム、国内八地方からの出場チームを目標とする）
試合数	本戦トーナメント31試合。1回戦敗退県外チームと市内チームによる交流戦
観光・物産 おもてなし	歓迎レセプションで花火鑑賞、市民団体による歓迎アトラクション、特産品お土産、弁当の注文販売、出場チームの宿泊先については市内温泉施設を優先的に配宿

事 業 説 明 書

10 款 6 項 2 目 16 事業

(施策の大綱) スポーツの推進

(施策) スポーツ機会の拡大と環境の整備

(基本事業) スポーツ施設の整備充実

継続

課所名：生涯学習部 スポーツ振興課

『事業名』 **その他体育施設改修事業費**

【31年度】 448,900 千円 【30年度】 69,990 千円 【増減額】 378,910 千円

※31年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		425,000		23,900

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

大曲武道館は市内中心部に位置していることから、連日、スポーツ少年団、高校の部活動、一般の団体まで幅広く利用されている。

利用者が楽しく安全にスポーツに親しめる環境を維持するため、新耐震基準に対応した施設の改築事業を推進し、更なるスポーツ人口の拡大やスポーツ振興の発展に寄与する。

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

耐震診断の結果を受け、今後の改築事業実施についての方針策定や、利用団体等との協議を行った。

平成30年度は既存施設の解体工事及び改築工事实施設設計業務を行っており、平成31年度改築に向けて計画通り順調に事業推進を行っている。

【改築工事関係事業費】

年度	実施内容	経 費
H23	耐震診断他実施	1,696 千円
H27	改築工事基本設計業務	3,856 千円
H29	既存解体工事实施設設計業務	1,577 千円
H30	改築工事实施設設計業務	14,904 千円
	既存解体工事 (※工事監理業務、設計監理業務含む)	37,102 千円

3. Check (評価：問題と課題)

- ・既存施設の解体工事から新武道館の建築工事完了までの期間について、定期利用団体の活動場所を確保する必要がある。
- ・隣接する大曲体育館並びに市役所利用者の駐車場確保並びに工事期間中の安全確保の徹底に努める。

4. Act (改善：今後の方向性と31年度事業の概要)

平成31年度は事業の最終年度として新武道館の建築工事を行い、建築後は市内武道愛好者が気軽に活用できる交流拠点の場として運営していく。

【構造、建築面積】 鉄骨造平屋建て 877.56㎡

【工事期間(予定)】 平成31年6月上旬～平成32年3月下旬

【内 訳】

項目	内容	金額
手数料	N T T 柱撤去手数料、完成検査手数料	150 千円
委託料	改築工事設計監理業務委託料、工事監理業務委託料	7,013 千円
工事請負費	建築工事費 (建築、電気、機械)	440,420 千円
備品購入費	畳台車、机、イス	1,317 千円

事 業 説 明 書

スキー場事業特別会計

1 款 1 項 1 目 10 事業

(施策の大綱)スポーツの推進

(施策)スポーツ機会の拡大と環境の整備

(基本事業)スポーツ施設の整備充実

継続

課所名：生涯学習部 スポーツ振興課

『事業名』 スキー場運営費

【31年度】 36,657 千円 【30年度】 74,428 千円 【増減額】 △ 37,771 千円

※31年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			65	36,592

※行政財産使用料他

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

地域が持つ豊かな冬の資源及び自然環境を最大限に活用し、誰もが個々の年齢や健康・技術に合わせて気軽に楽しめる冬季スポーツの場を提供することによって、地域経済の活性化、市民の健康増進などに資する。

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

各スキー場独自のイベントや教室を開催するなど集客に努めており、平成29年度シーズンは降雪にも恵まれ前年度より利用者数が増加した。また、各スキー場ともにリフト整備に注力し、安全安心な運営を心掛けている。

●市内スキー場利用客数 (過去3年間) (単位：人)

年度	大曲	協和	大台	合計
H29	9,721	27,745	20,990	58,456
H28	7,126	20,921	18,091	46,138
H27	8,509	21,781	18,560	48,850

●市内スキー場修繕費、工事費実績 (過去3年間) (単位：件、千円)

年度	大曲		協和		大台		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
H29	10	25,888	6	7,429	5	10,871	21	44,188
H28	7	4,412	4	7,880	1	6,210	12	18,502
H27	4	3,817	1	850	4	6,695	9	11,362

3. C h e c k (評価：問題と課題)

- ・現在は各スキー場ともに指定管理者が、管理・運営にあたっているが、降雪等の影響による営業日数不足が毎年懸念されている。
- ・リフト等の施設の老朽化が進んでいるため、運営に当たっては常に安全安心を最優先に考え、事故や災害等の緊急時には迅速かつ適切な対応ができる体制を整え、健全なスキー場運営を目指す。

4. A c t (改善：今後の方向性と31年度事業の概要)

各スキー場は、レンタル用品や売店、レストラン等の内容も充実しており、リフト券の販売に関しても多様な時間・料金設定を行うなど、利用者ニーズに対応している。

また、様々な企画で集客を図るなど、今後も指定管理者による民間のノウハウを活かした効率の良い事業効果が期待できる。

【平成31年度 各スキー場事業費】 (単位：千円)

スキー場名	修繕料	委託料 (指定管理料等)	工事費	その他	合計
大曲スキー場	200	9,347	1,928	489	11,964
協和スキー場	617	175	4,300	11,570	16,662
大台スキー場	466	5,991	798	776	8,031

※主な内容

- 大曲：リフト握索装置交換工事1,928千円
- 協和：電源ケーブル更新工事4,300千円
- 大台：乗用草刈機修繕466千円、リフト支柱防水端子箱更新工事798千円